

令和 2 事業年度

# 決算報告書

自：令和 2 年 4 月 1 日

至：令和 3 年 3 月 31 日

国立大学法人千葉大学



令和2年度 決算報告書

国立大学法人 千葉大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	20,603	20,201	△ 401	(注1)
うち補正予算による追加	-	37	37	
施設整備費補助金	2,336	2,171	△ 165	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,288	7,249	5,960	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	53	53	-	
自己収入	49,286	50,677	1,391	
授業料、入学期及び検定料収入	8,491	8,092	△ 398	(注4)
附属病院収入	36,976	35,064	△ 1,912	(注5)
財産処分収入	3,000	6,804	3,804	(注6)
雑収入	818	715	△ 102	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,315	6,396	80	(注8)
引当金取崩	372	357	△ 14	(注9)
長期借入金収入	8,247	12,687	4,439	(注10)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	625	69	△ 556	(注11)
計	89,129	99,863	10,734	
支出				
業務費	68,882	59,010	△ 9,871	(注12)
教育研究経費	29,134	24,230	△ 4,904	
うち授業料免除枠	-	3	3	
うち設備災害復旧事業	28	28	-	
診療経費	39,747	34,780	△ 4,967	
施設整備費	10,636	14,911	4,274	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,288	7,003	5,714	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,315	5,640	△ 675	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,005	1,933	△ 72	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	89,129	88,498	△ 630	
収入 - 支出	-	11,364	11,364	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算額に計上していた前年度繰越事業の一部を令和3年度に実施すること、追加交付及び補正予算が措置されたこと等により、合算して予算額に比して決算額が401百万円少額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金の増加及び事業の一部を令和3年度に繰越したため、合算して予算額に比して決算額が165百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、主として予算段階では予定していなかった新型コロナウイルス感染症関連の補助金の増加のため、予算額に比して決算額が5,960百万円多額となっております。また、授業料等免除交付金が245百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、高等教育の修学支援新制度による授業料等免除交付金が措置されたこと等により、予算額に比して決算額が398百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、主として新型コロナウイルス感染症対応のために病床確保を行った影響等により、予算額に比して決算額が1,912百万円少額となっております。
- (注6) 財産処分収入については、土地売却額が見込み額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が3,804百万円多額となっております。
- (注7) 雑収入については、主として学校財産貸付料収入、講習料収入等の減少により、予算額に比して決算額が102百万円少額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として寄附金収入の増加及び受託研究収入の減少のため、合算して予算額に比して決算額が80百万円多額となっております。
- (注9) 引当金取崩については、退職給付引当金等の取崩額が見込み額を下回ったため、予算額に比して決算額が14百万円少額となっております。
- (注10) 長期借入金収入については、予算段階より収入の増額が発生したこと及び事業の一部を令和3年度に繰越したため、合算して予算額に比して決算額が4,439百万円多額となっております。
- (注11) 目的積立金取崩については、事業の一部を翌年度に繰越したため、予算額に比して決算額が556百万円少額となっております。
- (注12) 業務費については、主として新型コロナウイルス感染症関連の補助金を診療経費の一部に充当したこと及び計画の一部を令和3年度に実施することとしたため、予算額に比して決算額が9,871百万円少額となっております。
- (注13) 施設整備費については、(注2)及び(注10)に示した理由により、合算して予算額に比して決算額が4,274百万円多額となっております。
- (注14) 補助金等については、主として(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が5,714百万円多額となっております。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として(注8)に示した理由及び事業の一部を翌年度以降に繰越したため、予算額に比して決算額が675百万円少額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、主として事業の一部を令和3年度に繰越したため、予算額に比して決算額が72百万円少額となっております。